

10月22日・23日 蒲郡市立西浦中学校オンラインキャリア教育

蒲郡市立西浦中学校の2年生は、毎年6月に地元の企業や官公庁などで職場体験学習を行ってきたが、本年度は新型コロナウイルスの影響で中止せざるを得ない状況となった。西浦中学校において、職場体験学習に替わるキャリア教育を模索していたところ、蒲郡市役所から一般財団法人日本財団ボランティアサポートセンターに出向している職員の仲介で、「オンラインキャリア教育」を実施できることとなった。「オンラインキャリア教育」とは、教室にいながらリモートで、東京の様々な職業の方々からお話をうかがう授業である。

以下に示す企業の職員に、授業の講師を務めていただいた。

<講師>

- (1) 株式会社JTB 広報チームマネジャー
- (2) 株式会社アナライズログ Manager/Global Partnerships
- (3) トヨタ自動車株式会社 オリンピック・パラリンピック部課長
- (4) 日本電気株式会社 東京オリンピック・パラリンピック推進本部 グループ主任

<授業形式>

- 西浦中学校2年生(全31名)の教室と東京の各企業をウェブ会議システムZoomでつないで、それぞれ50分の授業を行った。

<講師による講話の内容>

- 自社の紹介と働くことに対する講師(企業)の考え
- 講師が中学生の時に考えていた自分の将来と職業 等

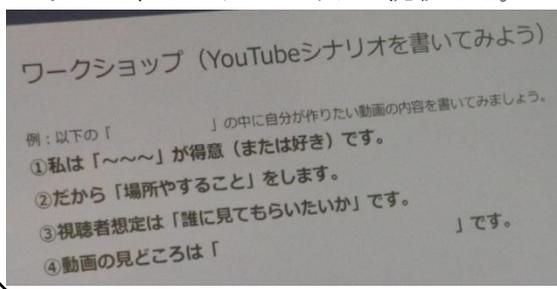
株式会社JTB

講師の方とのやり取りを通して「会社で「働く」ということ」や「大人に求められるチカラ」等について学んだ。



株式会社アナライズログ

アナライズログは、Youtuber等のエージェント事業を展開する会社。ワークショップで、シナリオづくりに挑戦した。



トヨタ自動車株式会社

講師からの「東京に住んでいて、仕事してる人ってどんなイメージ?」という質問に対して、グループで話し合った。



日本電気株式会社(NEC)

『3人のレンガ職人』の話から、「何の職業になりたいか」よりも「何をやりたいか」と考えることが大切であると学んだ。

